



▲“きね”でもちをつく子どもたち

お年寄りと楽しいふれあい

河浦剣道クラブが訪問もちつき

12月27日、河浦剣道クラブの子どもたち11人が、地元にある老人福祉施設を訪問し、もちつきを行いました。同クラブが、お年寄りとのふれあいを目的に初めて実施したものです。子どもたちは、日ごろ持ちなれた“竹刀”を“きね”に持ちかえ、力強くもちをついていました。その後、子どもたちはつきあがったもちを入所者のお年寄りといっしょに食べ、入所者から「もちがやわらかくておいしい」と声をかけられるなど、お年寄りとのふれあいを楽しんでいました。

それぞれの想いを絵馬に込めて

思い出づくり事業

平成19年度に有明町の島子小学校を卒業し、今年度18歳になる子どもたちに絵馬を書いてもらう「思い出づくり事業」が12月23日、島子地区コミュニティセンターで行われ、10人が参加しました。同地区振興会が毎年お盆や正月に、今回書いた絵馬を同センターのフェンスに飾ることで、帰省した子どもたちが集まるきっかけになるようにと行っているもの。

子どもたちは絵馬に「ビッグになって帰ってくる！」など、決意や願いごとを思いおもいに書いていました。



▲絵馬を囲んで記念の1枚

夢を筆に込めて

新春書き初め

久玉町の久玉小学校5・6年生30人と地区住民が1月7日、久玉地区コミュニティセンターで「新春書き初め」を行いました。久玉地区振興会が、子どもたちに夢を持って1年を過ごしてほしいと初めて実施したものです。同地区振興会の尾谷次男会長が、横5m・縦3mの紙に事前に「夢」と書き、その文字の周りに子どもたちは自分の夢を、おとなたちは子どもたちに託すメッセージを書いていました。

この作品は、同センター入り口に1年間展示されます。



▲自分の夢を書く子どもたち



▲生徒へ贈られたへのかっぱストラップ

“へのかっぱ”精神で乗り越えて！

へのかっぱストラップを贈呈

1月8日、栖本中学校の3年生23人に栖本まちづくり協議会から“へのかっぱストラップ”が贈られました。このストラップは、同協議会が地元のかっぱ伝説にちなんで企画・販売しているもので、高校受験を控えた生徒に“へのかっぱ”の精神で受験に挑んでもらおうと毎年贈っているもの。贈呈式は同中学校で行われ、同協議会の松尾悟会長から生徒代表に手渡されました。生徒は「ストラップをもらえてうれしいです。大事にします」と話していました。

祭りとマラソンに多くの人出

倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会

1月12日、倉岳大えびす像公園一帯で「第22回倉岳えびす祭り・2014倉岳えびすマラソン大会」が開催されました。同えびす祭りでは、約50隻の漁船による海上パレードが行われたほか、えびす太鼓の披露や綱引き大会、福もち投げなどが実施され、約3,700人の人出でにぎわいました。また、同マラソン大会には、3・5・10kmのコースに県内外から過去最多となる1,264人のランナーが参加。自然豊かな倉岳路を気持ち良さそうに走っていました。



▲えびす太鼓の演奏

勇壮な太鼓の響きとともに新年の幕開け

嵐口春日太鼓保存会が年越しライブ

平成26年の幕開けを祝う、嵐口春日太鼓保存会による年越しライブが、1月1日の午前0時から御所浦漁村センターで行われました。平成12年から毎年行われているもので、100人を超える住民が来場。会場は、手作りの竹のキャンドルで彩られ、幻想的な雰囲気の中、同会の会員が力強いバチさばきで「嵐」や「響」を含む5曲を披露。勇壮な演奏に、来場者は聞き入っていました。



▲力強いバチさばきを見せる嵐口春日太鼓保存会の皆さん